

キーワード：持続可能 探究的 地域リソースの活用 共通理解など

令和6年度第1回第八中学校区 分科会資料を一部改

ワーク全体表  
「もちあじを大切に 他者をつながり チャレンジする力」

	昨年度までの議論	検討項目
1.児童会・生徒会	めざす子ども像にそって児童生徒が連携できることをいつ、どのように実現するのか	合同あいさつ運動、小6八中見学会、小5八中体験 (G)1年間を見通した、一貫として必要性の高いと考えられる活動および持続可能な活動の創設、既存の活動の見直し・改善(合同校外学習等)
2. ICT	各校でのICT教育のカリキュラム内容について一覧表を作る 使用している教材やソフトについて情報共有(揃えるかどうかも検討)	(G)3校共通の下記項目の確立 ICT教育のカリキュラム作成 ICT機器の使用ルールの検討 ●情報活用教育(メディアリテラシー教育)の検討
3. 図書館教育	合同研修会を開催	(G)合同研修会の実施要項 ⇒ 実施後の効果検証の在り方 ●9年間にわたる図書館利用教育の確立 ●各学年の授業と図書館の連携の共有
4. 学習規律	話し方・聞き方の合言葉をつくる	(G)3校共通であり、小中は同じもの、中は系統性や小からの発展性のあるものについての確立 (学級活動の構造化⇒係・日直・掃除など)
5. 不登校	すこやかルームの公開(8中オープンスクールで)新年度保護者説明会で不登校について説明する実態把握・共有 コーディネータを校区に一人配置してほしい	9年間を見通したスクリーニングシートの検討 (作成するかも含めて) (G)3校での(特に小中間)での情報共有の在り方、不登校対応における共通的な対応や体制の確立
6. 支援・通級	さくら学園のコグトレが話題に 支援の教材を共有したい 各校の支援の内容を知り合う→一貫性が必要? 支援在籍の子どもの情報共有	(G)出口を見据えた適切な進路指導の在り方の共通 自立活動の明確化、教職員全体での共通認識・啓発 入級と退級の基準や組織的(校内委員会等)な対応の共通化
7. 総合(キャリア/人権/地域)		総合的な学習の時間の全体計画の確立 ① 人権教育(G)9年間の人権教育を系統立てる 効果検証の方法 ② 地域(まちづくり) (G)地域学習の系統立てから地域創生、 また探究的な要素を盛り込む ③ キャリア教育(G)9年間のキャリア教育を系統立てる 効果検証の方法 これに学園独自の取り組みを加えていく
8. 授業改善(研究)	つながりを大切にした授業づくり 他者をつながるに焦点をあてる どんな力をつけるのか 相手意識をもって自分の考えを適切に表現する力をつける 授業研究の教科をそろえるのは難しい	授業研究の内容と方法 ●各教科でつきたい力の整理 ●学園としての授業スタンダードの検討 (G)豊中市の授業改善取り組みマップを、八中校区に沿った内容にする 授業改善取り組みマップにあるようなサイクルが、どのようにすればうまく回せるのか検討し、方法や取組の在り方について一定の形を示す。
9. 学校安全	3校合同での地震避難訓練と引き渡し訓練 保護者向けの案内作成と共有	(G)避難訓練・引き渡し訓練の実施要項 効果検証方法の確立 ●緊急対応マニュアル ●児童・生徒カルテの検討 ⇒ 一定の方向性の確立(統一など)